

2026年3月期 第2四半期決算説明資料

証券コード 7715

2025年11月27日



発表のポイント

2026年3月期 第2四半期 連結業績の ポイント	○圧力計事業における産業機械・プロセス業界向が堅調に推移、 売上高は前年同期比△10.4%に対し、営業利益率は△4.1%にとどまった。 ○圧力センサ事業は、産業機械及び半導体業界を中心とした設備投資需要が 在庫調整局面となり、減収・減益。 ○海外子会社の決算数値の換算レート(現地6月末)が円高となったことにより 円換算額が減少
2026年3月期 連結業績予想	○前回発表予想・変更なし 売上高671億円、営業利益68億円、経常利益69億円、 親会社株主に帰属する当期純利益51億円
2026年3月期 中間配当	○中間配当2円の増配を実施 ・中間24円(期初予定)から26円へ増配 ・年間48円から50円へ上方修正(中間26円、期末24円)
成長戦略 取組施策	○中期経営計画(2023年度～2025年度)最終年度 ・モノづくりのあくなき探求心を礎に、強靱な経営基盤を構築し、 社会的課題への貢献と企業価値向上に取り組む

2026年3月期 第2四半期業績概要

2026年3月期 業績予想

中期事業計画に対する進捗状況と今後の取組について

連結業績概要

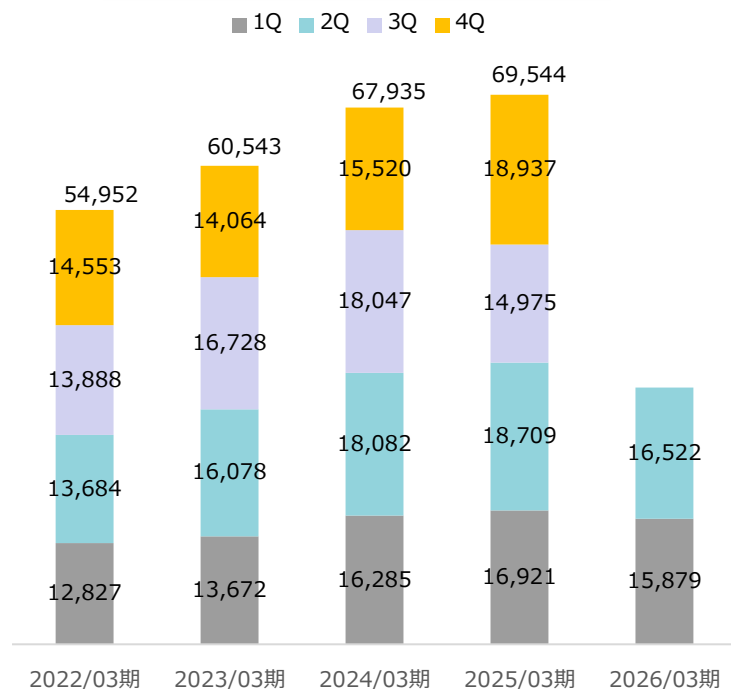
(百万円)		2025年3月期 2Q (2024.4.1～2024.9.30)	2026年3月期 2Q (2025.4.1～2025.9.30)	前年同期比	
				増 減	増減率
売	上	高	35,631	32,401	△ 3,229 △ 9.1%
営	業	利 益	3,994	3,251	△ 742 △ 18.6%
営	業	利 益 率	11.2%	10.0%	△ 1.2% —
経	常	利 益	4,010	3,169	△ 840 △ 21.0%
経	常	利 益 率	11.3%	9.8%	△ 1.5% —
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益		2,961	2,242	△ 718 △ 24.3%	
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益 率		8.3%	6.9%	△ 1.4% —	
為	ドル（期末）※	161円04銭	144円76銭	10.1% の円高	
替	ユーロ（期末）※	172円36銭	169円63銭	1.6% の円高	

※在外子会社の円換算に使用している6月末レートを表記

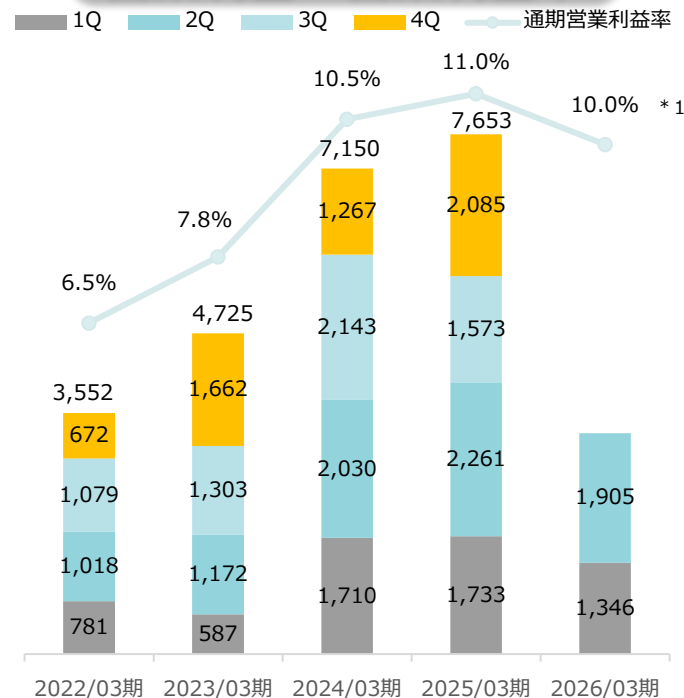
四半期業績推移 (2022.1Q~2026.2Q)

(単位：百万円)

売上高

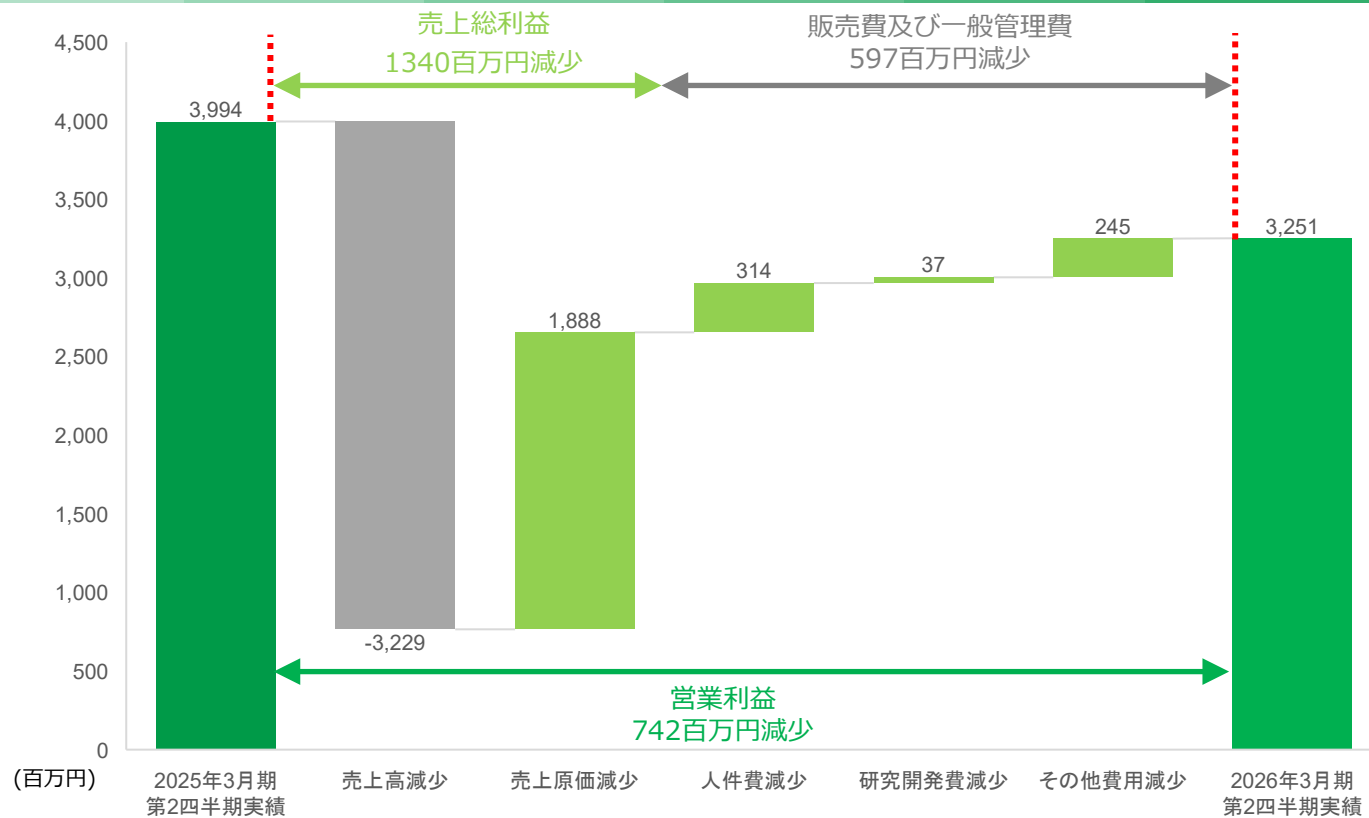


営業利益・営業利益率



* 1 2026/03期 営業利益率は2Q実績

営業利益増減分析（前年同期比）



売上高の減少にともない、連動して売上原価が減少しました。
しかしながら、素材、原材料価格の上昇影響も生じています。

【人件費】
経済発展及び労働市場の変化によりグループ全体における人件費は上昇しておりますが、為替影響により最終的には減少しました。
※2025年3月末US\$: 149円
6月末US\$: 144円

【その他の費用】
荷造運賃、減価償却費等、その他の費用も減少しました。

セグメント別業績

[売上高]

(百万円)	2025年3月期 2Q		2026年3月期 2Q		前年同期比	
	金 額	売上構成比	金 額	売上構成比	増 減	増減率
圧 力 計	19,162	53.8%	17,175	53.0%	△ 1,987	△ 10.4%
圧力センサ	11,106	31.2%	9,762	30.1%	△ 1,343	△ 12.1%
計測制御機器	1,849	5.2%	1,834	5.7%	△ 14	△ 0.8%
ダイカスト	2,518	7.1%	2,677	8.3%	159	6.3%
そ の 他	994	2.8%	950	2.9%	△ 43	△ 4.4%
合 計	35,631	100.0%	32,401	100.0%	△ 3,229	△ 9.1%

[営業利益]

(百万円)	2025年3月期 2Q		2026年3月期 2Q		前年同期比	
	金 額	営業利益率	金 額	営業利益率	増 減	増減率
圧 力 計	1,642	8.6%	1,575	9.2%	△ 67	△ 4.1%
圧力センサ	2,418	21.8%	1,429	14.6%	△ 989	△ 40.9%
計測制御機器	△ 19	△ 1.0%	82	4.5%	101	—
ダイカスト	△ 103	△ 4.1%	101	3.8%	205	—
そ の 他	53	5.3%	60	6.3%	7	13.7%
調 整 額	4	—	3	—	0	—
合 計	3,994	11.2%	3,251	10.0%	△ 742	△ 18.6%

業種別売上高

(百万円)	2025年3月期 2Q		2026年3月期 2Q		前年同期比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減	増減率(%)
圧力計						
産業機械・プロセス	10,245	53.5%	9,758	56.8%	△ 487	△4.8%
FA空圧	4,628	24.2%	3,817	22.2%	△ 811	△17.5%
空調管材	1,090	5.7%	1,049	6.1%	△ 41	△3.8%
半導体	2,150	11.2%	1,699	9.9%	△ 451	△21.0%
電子製品	1,047	5.5%	850	4.9%	△ 197	△18.8%
計	19,162	100.0%	17,175	100.0%	△ 1,987	△10.4%
圧力センサ						
プロセス・新エネルギー	1,217	11.0%	1,198	12.3%	△ 19	△1.6%
産業機械・設備	3,112	28.0%	2,809	28.8%	△ 303	△9.7%
空調	256	2.3%	265	2.7%	9	3.5%
半導体	3,897	35.1%	2,371	24.3%	△ 1,526	△39.2%
量産・車	654	5.9%	910	9.3%	256	39.1%
量産・建設機械	1,967	17.7%	2,207	22.6%	240	12.2%
計	11,106	100.0%	9,762	100.0%	△ 1,343	△12.1%
計測制御機器	1,849	—	1,834	—	△ 14	△0.8%
ダイカスト	2,518	—	2,677	—	159	6.3%
その他	994	—	950	—	△ 43	△4.4%
合 計	35,631	—	32,401	—	△ 3,229	△9.1%

セグメント別業績 圧力計

圧力計

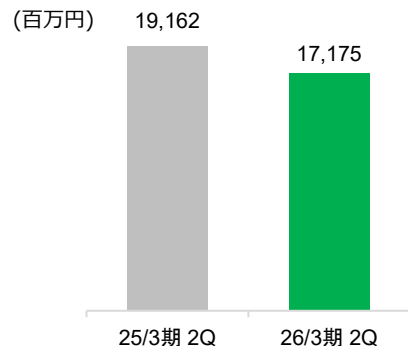
圧力センサ

計測制御機器

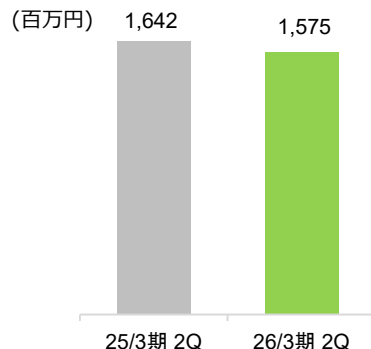
ダイカスト

	2025年3月期 2Q (2024.4.1～2024.9.30)	2026年3月期 2Q (2025.4.1～2025.9.30)	前年同期比	
			増 減	増減率
売上高	19,162	17,175	△ 1,987	△ 10.4%
営業利益	1,642	1,575	△ 67	△ 4.1%

売上高



営業利益



[圧力計事業は前年同期比で減収・減益]

国内

- プロセス業界において保守・メンテナンス需要が増加。
- FA空圧機器業界向け、半導体業界向けの売上が減少。

海外

- 米国子会社では、産業機械業界向けの売上が微増。
- ※為替影響により、円換算売上高は減少



セグメント別業績 圧力計

圧力計

圧力センサ

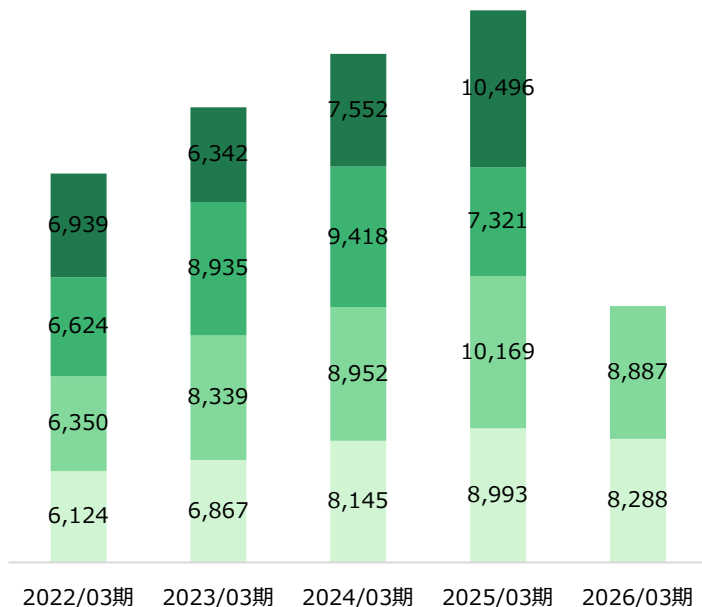
計測制御機器

ダイカスト

(百万円)

売上高

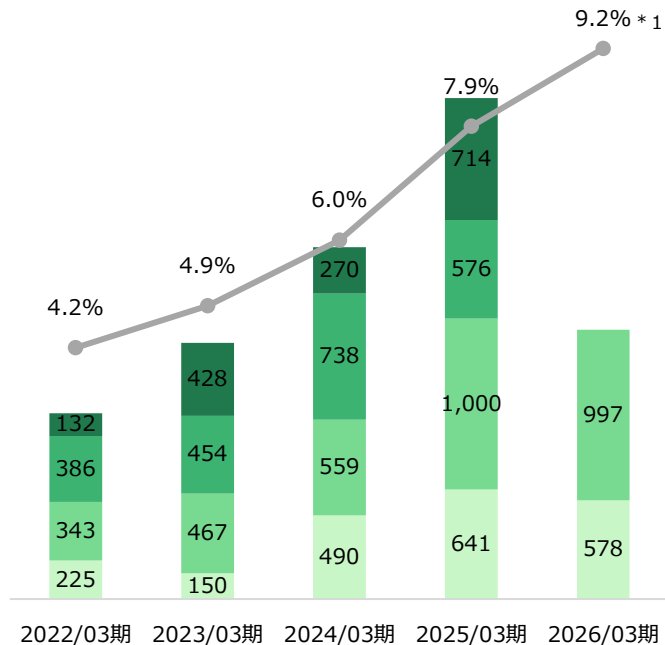
1Q 2Q 3Q 4Q



(百万円)

営業利益・営業利益率

1Q 2Q 3Q 4Q 通期営業利益率



* 1 2026/03期 営業利益率は2Q実績

セグメント別業績 圧力センサ

圧力計

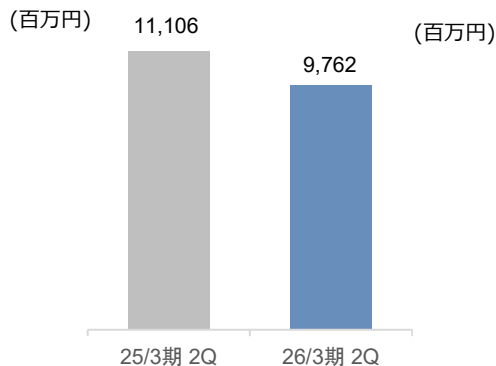
圧力センサ

計測制御機器

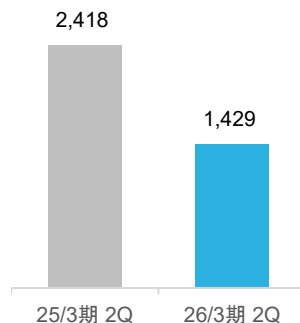
ダイカスト

(百万円)	2025年3月期 2Q (2024.4.1～2024.9.30)	2026年3月期 2Q (2025.4.1～2025.9.30)	前年同期比	
			増 減	増減率
売上高	11,106	9,762	△ 1,343	△ 12.1%
営業利益	2,418	1,429	△ 989	△ 40.9%

売上高



営業利益



[圧力センサ事業は前年同期比で減収・減益]

国内

- プロセス・新エネルギー向け、空調管材向け、自動車搭載用及び建設機械搭載用の売上が増加。
- 産業機械業界向け、半導体向けの売上が減少。

海外

- 米国子会社においては、産業機械業界向けが好調であったことから売上が増加。



セグメント別業績 圧力センサ

圧力計

圧力センサ

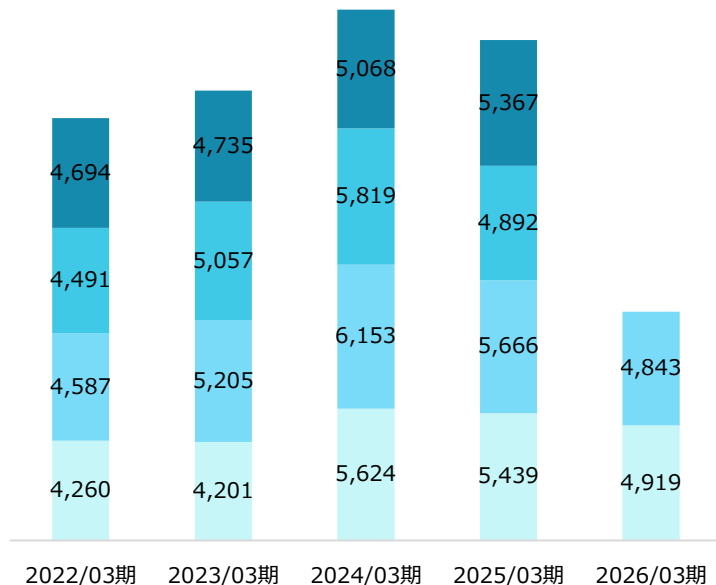
計測制御機器

ダイカスト

売上高

(百万円)

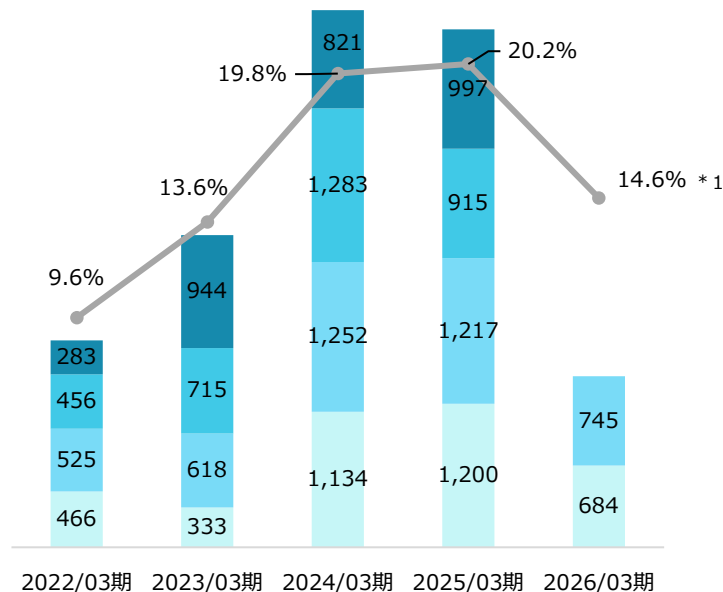
1Q 2Q 3Q 4Q



営業利益・営業利益率

(百万円)

1Q 2Q 3Q 4Q 通期営業利益率



* 1 2026/03期 営業利益率は2Q実績

セグメント別業績 計測制御機器

圧力計

圧力センサ

計測制御機器

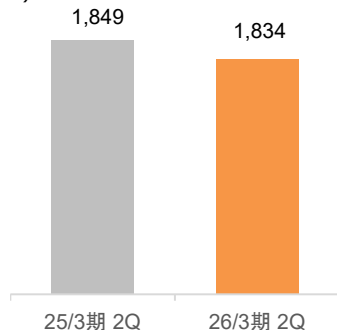
ダイカスト

(百万円)	2025年3月期 2Q (2024.4.1～2024.9.30)	2026年3月期 2Q (2025.4.1～2025.9.30)	前年同期比	
			増 減	増減率
売上高	1,849	1,834	△ 14	△ 0.8%
営業利益	△ 19	82	101	—

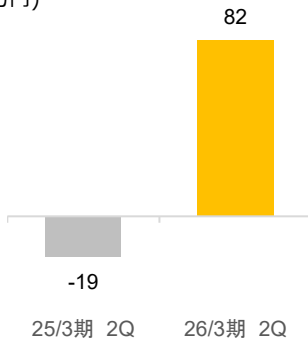
売上高

営業利益

(百万円)



(百万円)



[計測制御機器事業は前年同期比で減収・増益]

- 一般産業の設備投資に関わる生産設備向けとして、空気圧機器の売上が増加。
- 自動車・電子部品関連業界向けのエアリークテストは、足元の設備投資が鈍い状況を受けて売上が減少。
- 営業利益は空気圧機器の需要が寄与し、増加。
- 営業利益率：4.5%



セグメント別業績 計測制御機器

圧力計

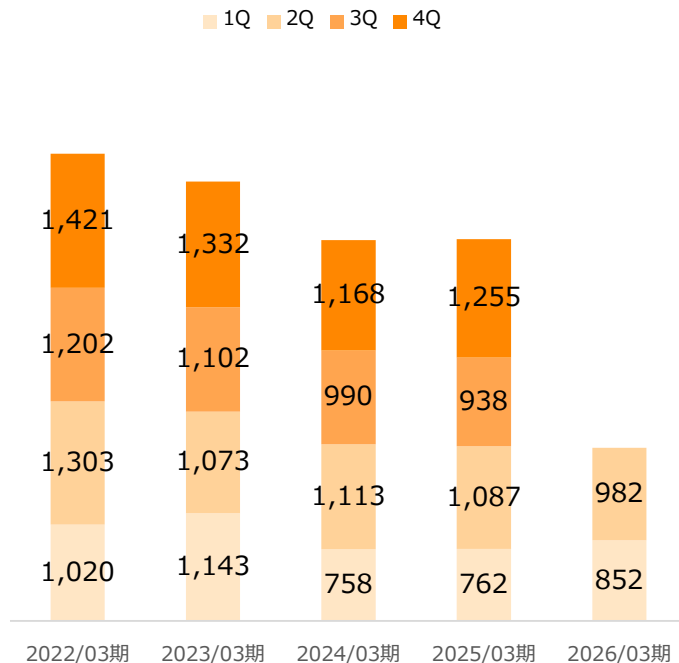
圧力センサ

計測制御機器

ダイカスト

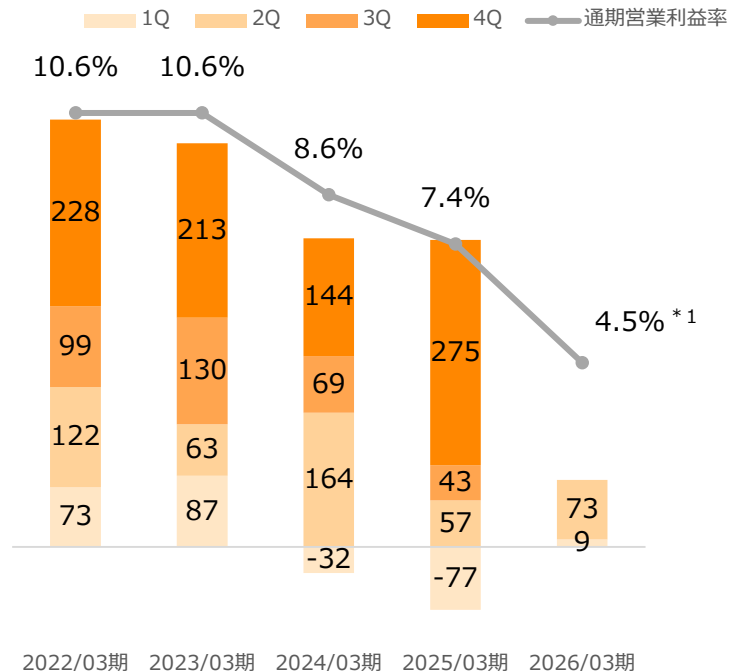
売上高

(百万円)



営業利益・営業利益率

(百万円)



*1 2026/03期 営業利益率は2Q実績

セグメント別業績 ダイカスト

圧力計

圧力センサ

計測制御機器

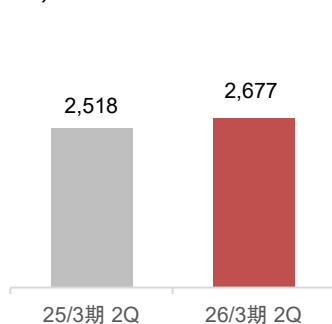
ダイカスト

(百万円)	2025年3月期 2Q (2024.4.1～2024.9.30)	2026年3月期 2Q (2025.4.1～2025.9.30)	前年同期比	
			増 減	増減率
売上高	2,518	2,677	159	6.3%
営業利益	△ 103	101	205	—

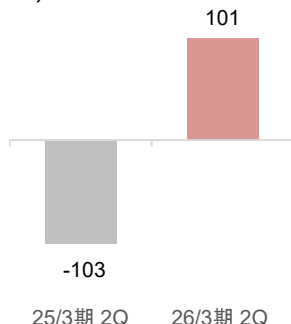
売上高

営業利益

(百万円)

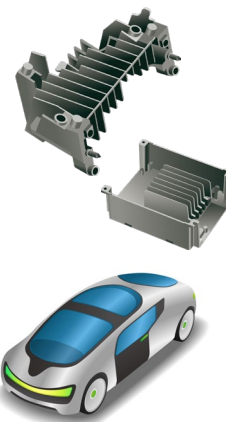


(百万円)



[ダイカスト事業は前年同期比で増収・増益]

- 自動車業界を主要取引先とするダイカスト事業は自動車生産台数の回復を背景に売上高、営業利益ともに増加。
- 営業利益率：3.8%



セグメント別業績 ダイカスト

圧力計

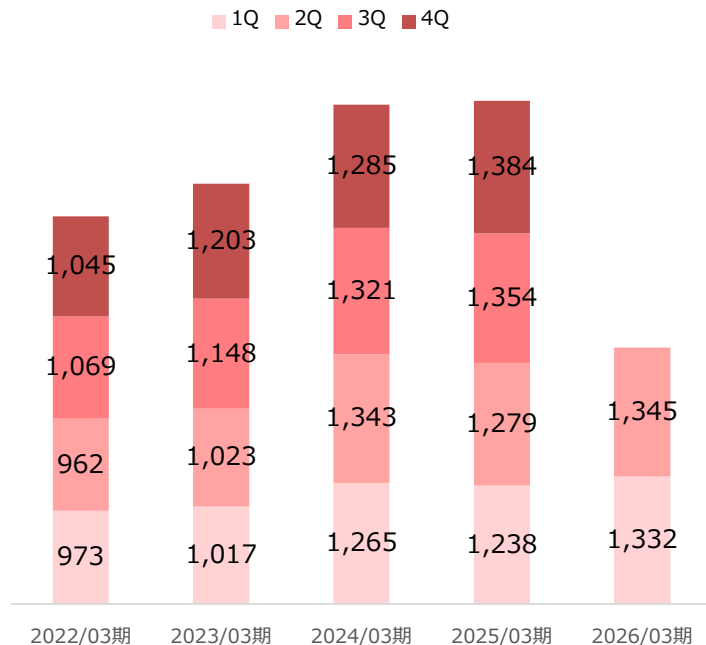
圧力センサ

計測制御機器

ダイカスト

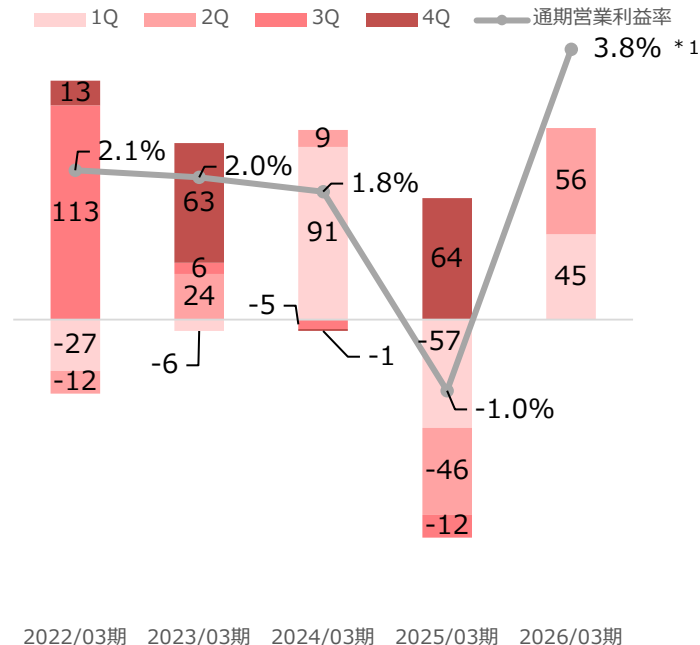
(百万円)

売上高



(百万円)

営業利益・営業利益率



*1 2026/03期 営業利益率は2Q実績

受注実績・受注残高

(百万円)	受注残高	受注実績	販売実績	受注残高	受注残高	
	2025.3	2025.4~2025.9	2024.4~2025.3	2025.9	増減	増減率
圧力計	6,481	16,744	17,175	6,050	△ 431	△ 6.7%
圧力センサ	4,555	9,020	9,762	3,813	△ 742	△ 16.3%
計測制御機器	1,102	2,209	1,834	1,476	374	33.9%
ダイカスト	—	2,677	2,677	—	—	—
その他	586	945	950	598	12	2.0%
合計	12,725	31,597	32,401	11,939	△ 786	△ 6.2%

■ 状 況

【圧力計】

- ・産業機械・プロセス向け（各種プラント）需要が底堅く推移。
- ・F A 空圧（OEMを含む）、空調管材及び半導体業界向け（設備機器）の需要が低調であった。

【圧力センサ】

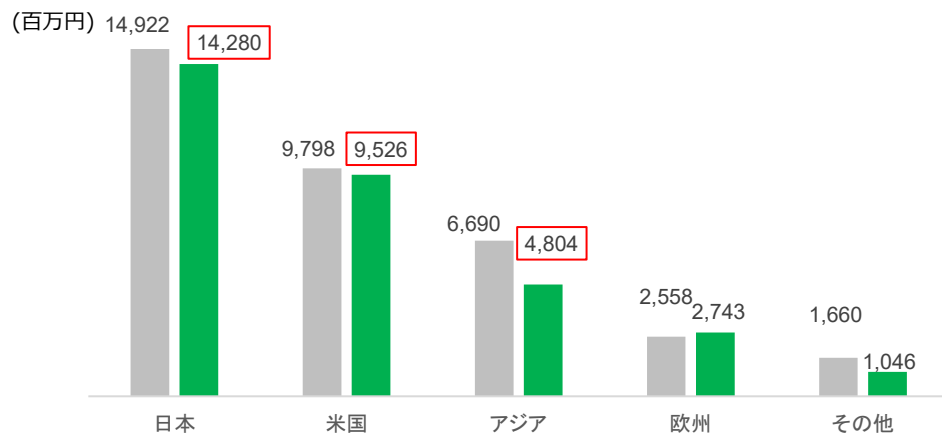
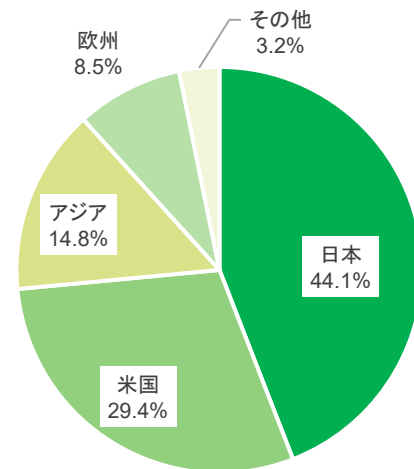
- ・産業機械（油圧を含む）、設備関連の流通在庫が停滞
- ・半導体関連の設備投資及び装置向け需要が減少

【計測制御機器】

- ・設備投資案件の取込により、産業用エアリークテストの受注が増加

地域別 売上高の状況

(百万円)	日本	米国	アジア	欧州	その他	合計
2025年3月期 第2四半期	14,922	9,798	6,690	2,558	1,660	35,631
2026年3月期 第2四半期	14,280	9,526	4,804	2,743	1,046	32,401
増減	△ 641	△ 271	△ 1,886	184	△ 614	△ 3,230
増減率	△ 4.3%	△ 2.8%	△ 28.2%	7.2%	△ 37.0%	△ 9.1%

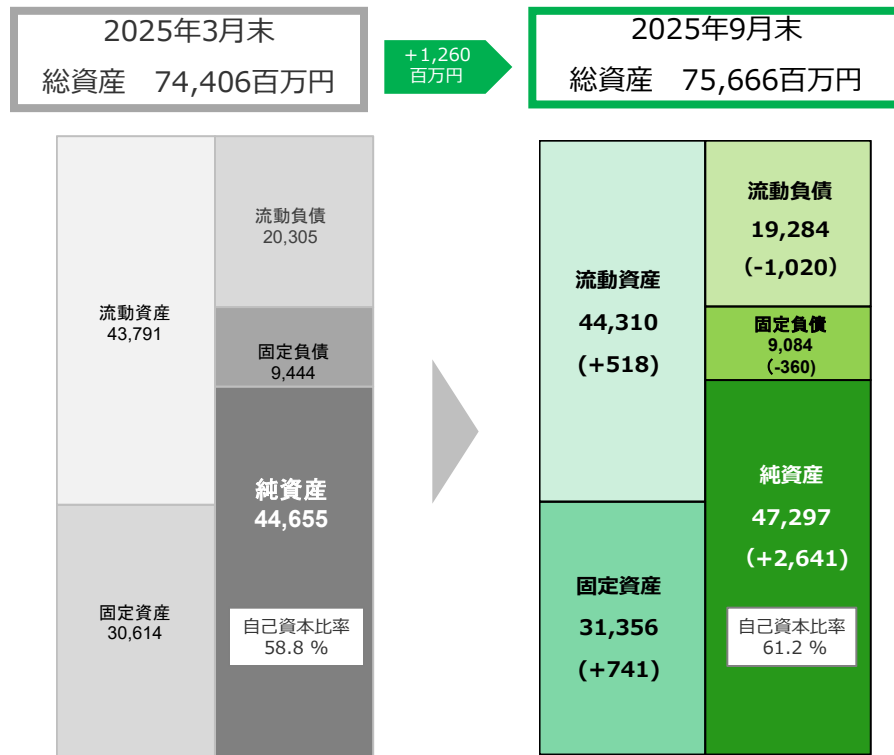


【前期比】

- 欧州地域を除き、為替影響および景況感の悪化影響もあり売上高は減少した。

連結貸借対照表

	2025年3月期 実績		2026年3月期 2Q実績		前期末比 増 減
	金 額	割合	金 額	割合	
(百万円)					
流 動 資 産	43,791	58.9%	44,310	58.6%	518
固 定 資 産	30,614	41.1%	31,356	41.4%	741
資 産 合 計	74,406	100.0%	75,666	100.0%	1,260
流 動 負 債	20,305	27.3%	19,284	25.5%	△ 1,020
固 定 負 債	9,444	12.7%	9,084	12.0%	△ 360
負 債 合 計	29,750	40.0%	28,369	37.5%	△ 1,381
株 主 資 本	38,105	51.2%	39,871	52.7%	1,766
その他の包括利益累計額	5,677	7.6%	6,470	8.6%	792
非 支 配 株 主 持 分	873	1.2%	955	1.3%	82
純 資 産 合 計	44,655	60.0%	47,297	62.5%	2,641
負 債 ・ 純 資 産 合 計	74,406	100.0%	75,666	100.0%	1,260



純資産は、2,641百万円増加、自己資本比率は2.4pt 増加しております。

2026年3月期 第2四半期業績概要

2026年3月期 業績予想

中期事業計画に対する進捗状況と今後の取組について

連結業績予想（変更無し）

(百万円)	2025年3月期 実績 (2024.4.1～2025.3.31)	2026年3月期 予想 (2025.4.1～2026.3.31)	前期比	
			増 減	増減率
売 上 高	69,544	67,100	△ 2,444	△ 3.5%
営 業 利 益	7,653	6,800	△ 853	△ 11.1%
営 業 利 益 率	11.0%	10.1%	△ 0.9%	—
経 常 利 益	7,575	6,900	△ 675	△ 8.9%
経 常 利 益 率	10.9%	10.3%	△ 0.6%	—
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	6,054	5,100	△ 954	△ 15.8%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 率	8.7%	7.6%	△ 1.1%	—
為 替				
ドル（期末）※	158円18銭	145円00銭	—	
ユーロ（期末）※	164円94銭	155円00銭	—	

※ 2025年3月期通期実績の為替レートは在外子会社の円換算に使用している12月末為替レートを表記

セグメント別業績予想（期初比・前期比）

	売上高				
	期初予想	今回予想	期初比	前期実績	前期比
			増減額		増減額
			増減率		増減率
(百万円)					
圧力計	34,400	35,000	+600 1.7%	36,980	△ 1,980 -5.4%
圧力センサ	20,560	20,500	△ 60 -0.3%	21,366	△ 866 -4.1%
計測制御機器	4,760	4,200	△ 560 -11.8%	4,043	+157 3.9%
ダイカスト	5,500	5,500	+0 0.0%	5,257	+243 4.6%
その他	1,880	1,900	+20 1.1%	1,896	+4 0.2%
合計	67,100	67,100	+0 0.0%	69,544	△ 2,444 -3.5%

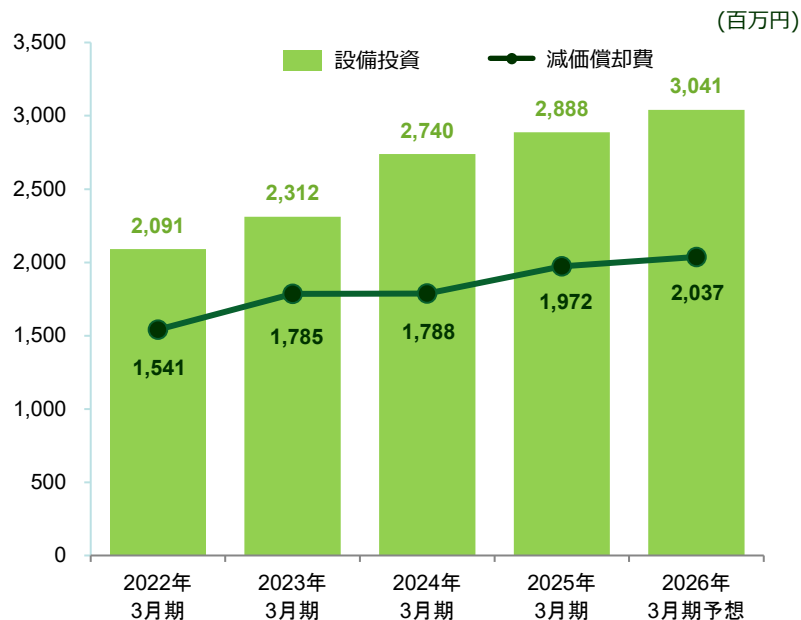
営業利益				
期初予想	今回予想	期初比	前期実績	前期比
		増減額		増減額
		増減率		増減率
2,350	3,100	+750 31.9%	2,933	+167 5.7%
3,880	3,000	△ 880 -22.7%	4,330	△ 1,330 -30.7%
391	375	△ 16 -4.1%	299	+76 25.4%
56	204	+148 264.3%	△ 52	+256 -
123	121	△ 2 -1.6%	136	△ 15 -11.0%
6,800	6,800	+0 0.0%	7,653	△ 853 -11.1%

業種別 売上高予想

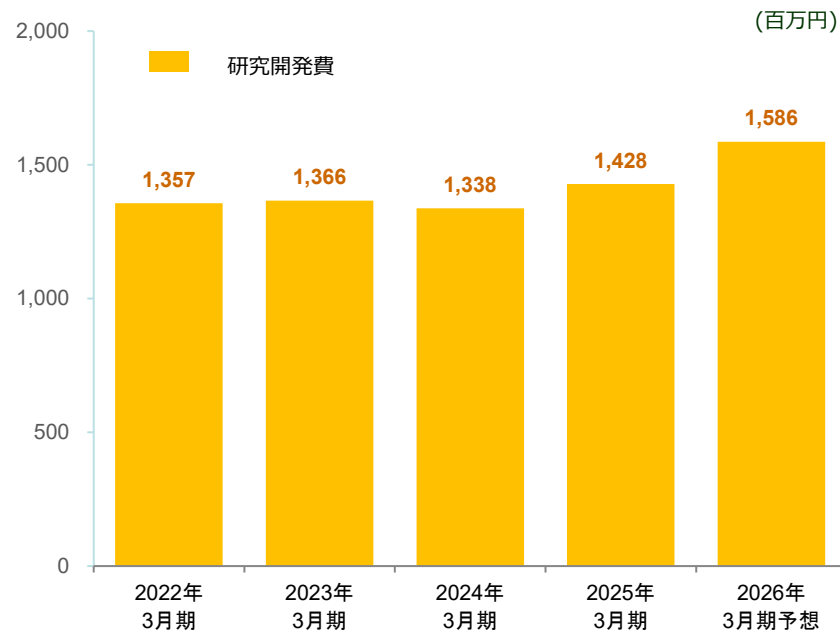
(百万円)	2025年3月期 通期実績		2026年3月期 通期予想		前期比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減	増減率
圧力計						
産業機械・プロセス	19,821	53.6%	19,478	55.7%	△ 343	△ 1.7%
FA空圧	8,656	23.4%	7,933	22.7%	△ 723	△ 8.4%
空調管材	2,184	5.9%	2,101	6.0%	△ 83	△ 3.8%
半導体	4,261	11.5%	3,561	10.2%	△ 700	△ 16.4%
電子製品	2,057	5.6%	1,927	5.5%	△ 130	△ 6.3%
計	36,980	100.0%	35,000	100.0%	△ 1,980	△ 5.4%
圧力センサ						
プロセス・新エネルギー	2,275	10.6%	2,429	11.8%	154	6.8%
産業機械・設備	6,042	28.3%	6,018	29.4%	△ 24	△ 0.4%
空調	522	2.4%	539	2.6%	17	3.3%
半導体	7,168	33.5%	5,435	26.5%	△ 1,733	△ 24.2%
量産・車	1,453	6.8%	1,752	8.5%	299	20.6%
量産・建設機械	3,904	18.3%	4,327	21.1%	423	10.8%
計	21,366	100.0%	20,500	100.0%	△ 866	△ 4.1%
計測制御機器	4,043	—	4,200	—	156	3.9%
ダイカスト	5,257	—	5,500	—	242	4.6%
その他	1,896	—	1,900	—	4	0.1%
合 計	69,544	—	67,100	—	△ 2,444	△ 3.5%

設備投資・減価償却費・研究開発費の見通し

設備投資・減価償却費



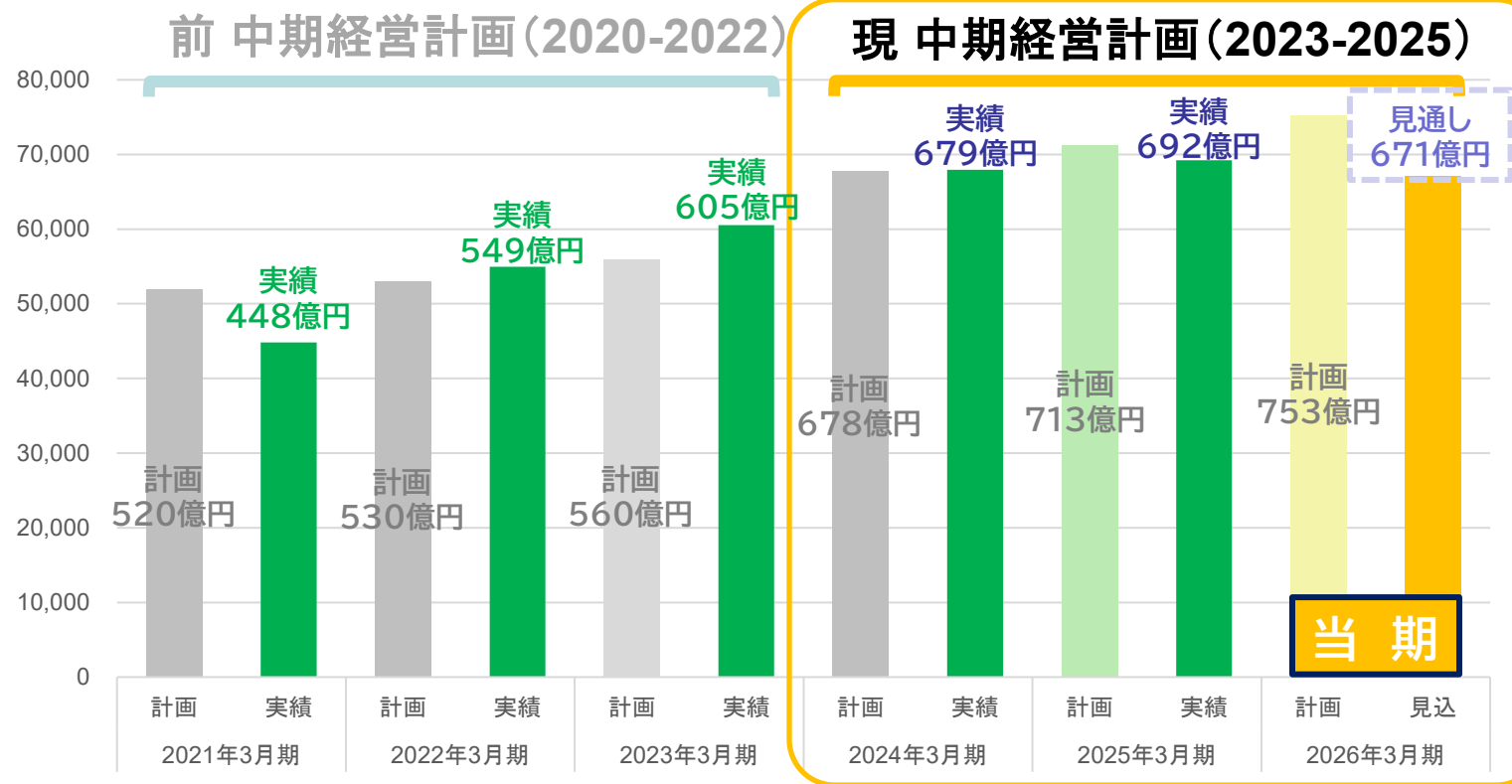
研究開発費



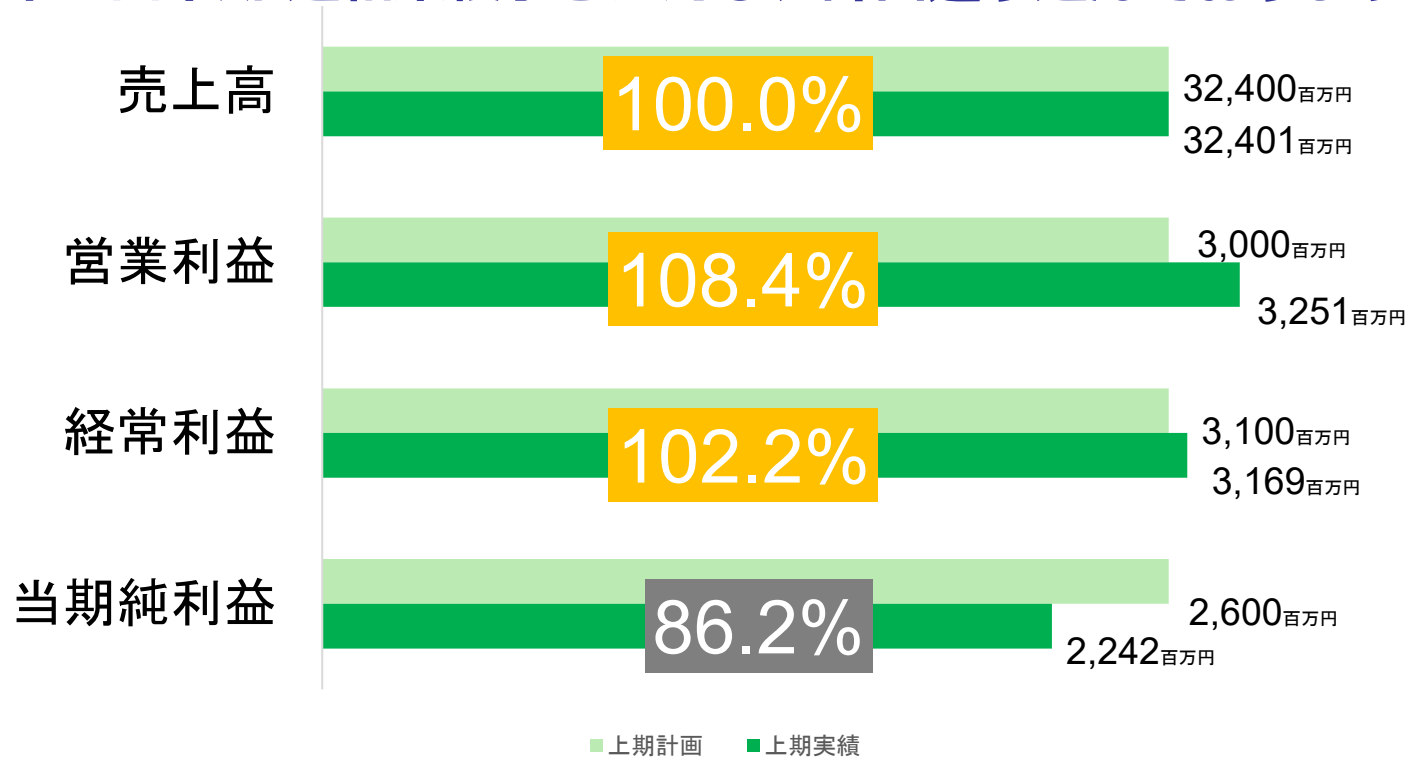
※研究開発費は、一般管理費に含まれるものと、製造費用に含まれるものとの合算となっております。

2026年3月期 第2四半期業績概要
2026年3月期 業績予想
中期事業計画に対する進捗状況と今後の取組について

中期経営計画に対する売上高実績の推移



第2四半期 連結業績予想に対し、計画通り進んでおります

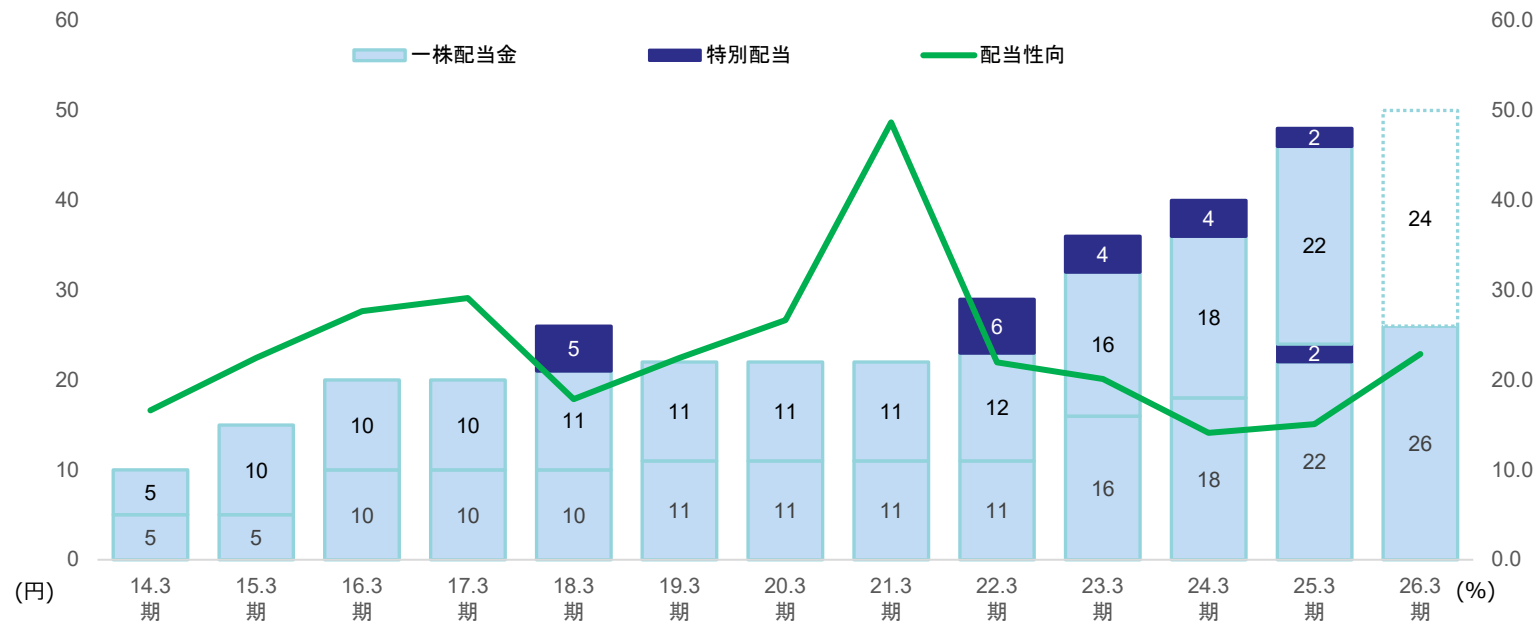


配当推移

配当金・配当性向

増配

- 中間配当金は、従来予想より2円増額し、一株配当金は26円（前期比+2円）。
- 中間配当の増額に伴い、年間一株配当金は50円を予定（従来予想は48円）。



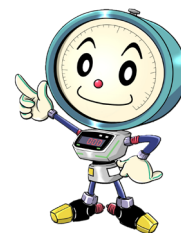
自己株式の取得について（取得終了）

1. 2025年8月26日付 取締役会決議の決定内容

- (1) 取得対象株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数 600,000 株(上限)
※発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 3.1%
- (3) 株式の取得価額の総額 1,200,000,000 円(上限)
- (4) 取得方法 東京証券取引所における市場買付
- (5) 取得期間 2025 年9月11 日～2026 年1月30日

2. 取得した自己株式の累計(2025年11月5日 現在)

- (1) 取得した株式の総数 540,500 株(発行済株式2.7%)
- (2) 株式の取得価額の総額 1,199,915,600 円



既存事業の競争力強化(圧力センサ事業)

圧力センサ生産能力の増強に向けた 体制整備を進めています！

2025年9月ダイヤフラム加工棟
稼働を開始しました！

上田計測機器工場に分散していた工程を
丸子電子機器工場の敷地内に集約

【投資効果】

- ・生産能力増強 (120万個／月産)
- ・設備更新(金属加工／研磨設備更新)
- ・生産性の向上



ステンレスダイヤフラム式
圧力センサ



建設機械業界向け
圧力センサKM7シリーズ



半導体産業向け
圧力センサ



建屋:約2,600㎡
2025年11月 撮影

新棟(丸子電子機器工場 敷地内:DP棟)



新建屋 屋内(加工設備)

船体構造応答モニタリングシステムを開発

北極域研究船「みらいⅡ」に当社システムが採用！ 卓越した光計測技術が氷海運航の安全と未来を支えます！

インフラモニタリング領域で培ったFBGセンサに、加速度計、ジャイロを組み合わせシステム化、氷海域及び通常海域航行中の船体状況を監視する船体構造応答モニタリングシステムを開発しました。



北極域研究船「みらいⅡ」 提供：海洋研究開発機構



船体構造応答モニタリングシステム



国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の北極域研究船「みらいⅡ」は、本格的な砕氷機能を持つ日本初の研究船。北極海の海氷域（海水が凍った海域）における大気・気象・海洋・海氷に関する幅広い調査観測を可能とし、国際的な研究プラットフォームとしての活躍が期待される大型研究船です。
2026年秋の完成を目指して建造が進められています。

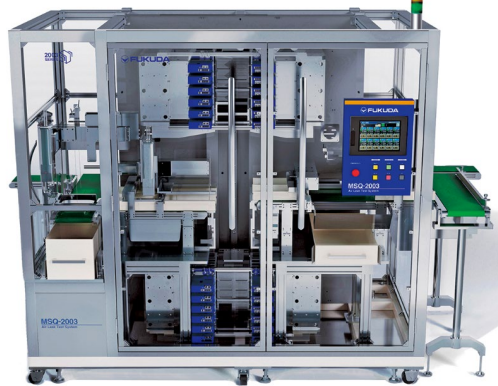
本システムは、この「みらいⅡ」に搭載され、氷や波による圧力や縦曲げモーメントなどの船体状況をリアルタイムで計測・記録・表示、異常検知時の即時アラートにより安全航行に貢献します。

既存事業の競争力強化(計測制御機器 事業)

自動車業界をはじめ、電子部品、食品・医薬品関連の製造などに対し、
リーク検査装置、をはじめ、これまで培ってきたセンシング技術を結集！
「安心・安全」を支える取り組みを強化します！

装置事例：包装容器エアリークテスト検査装置

ピンホール検査を完全自動化、包装不良を検出します！



- ・ピンホール検査工程の品質基準を定量的に管理
- ・製品の有効期間の品質を確保
- ・製造工程の評価基準を確立、定量的な品質保証を実現

【対象例】

ピロー包装、レトルト米飯（パックご飯）、その他



対象品（リーク検査）イメージ

リークテストは、自動車部品・電子部品、食品容器・医薬品包装等の漏れ検査に利用され、品質保証や安全性確保に貢献します。



検査装置の導入にとどまらず、温度や圧力などの使用環境を考慮し、信頼性の高い測定結果を得るための環境整備を支援、製造現場の効率化をサポートします。（メンテナンスを含む）

MSQ-2003シリーズ(株式会社フクダ製品)

次期 中期経営計画の策定について

【最終年度】
中期経営計画 フェーズ2

2023～
2025年度

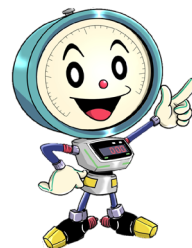
4つの成長戦略

- 1.既存事業の競争力強化
- 2.グローバル戦略の強化
- 3.新たな事業領域の拡大
- 4.経営基盤の強化

次期 中期経営計画
2026年度スタート

次期 中期経営計画
新フェーズ(策定中)

2026～
2028年度



対処すべき課題

- ・事業構造の改革
- ・競争力の深化
- ・収益性の向上
- ・経営基盤の強化

経営基盤の強化(「新生産棟」新設プロジェクト)

『最新鋭 生産設備の導入』・『新生産棟の新設』など
戦略的な設備投資を積極的に実行してまいります！

【圧力計 事業】



圧力計 国内主力工場 今後の取組
(上田計測機器工場)

- ・生産能力の強化
- ・セルライン導入による高効率・高品質な製造の実現
- ・災害対応力を高めた先進的インフラを整備

【圧力センサ事業】



圧力センサ 国内主力工場 今後の取組
(丸子電子機器工場)

- ・最新のクリーンルームを整備した品質向上
- ・最新技術導入による生産体制最適化
- ・将来的な事業拡大に対応可能な拡張性の確保

ありがとうございました

【お問い合わせ先】

長野計器株式会社 経営企画部

電話 03-3776-5332 (ダイヤルイン)

メール keiei-kikaku@naganokeiki.co.jp

コーポレートサイト

<https://www.naganokeiki.co.jp/>

IR情報 <https://www.naganokeiki.co.jp/ir/>



長野計器グループの生産・販売拠点



 **長野計器**

参考資料

■ 創業（1896年）微圧から超高圧までの圧力計を開発・製造・販売、国内シェア60%以上（売上高）

圧力計事業



圧力計

根幹となる
心臓部を
自社開発・内製化
100年を超える
実績と信頼！
幅広い市場ニーズに
的確に対応

圧力計とは？

- 空気や液体の「押す力」を、圧力値として
指針の動きに変換、確認ができる計器。
- 駆動電力を必要とせず、設置するだけで人が
目に見える形態で圧力を表示、作業者が簡単
に圧力値を目視確認できる。

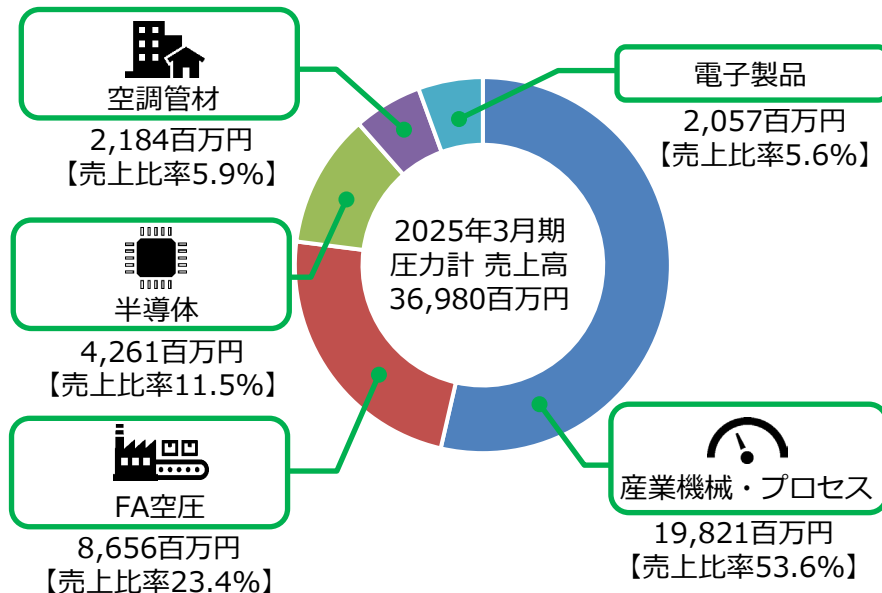


コア技術
(心臓部)

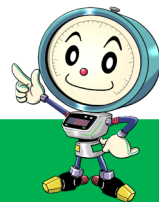
高圧

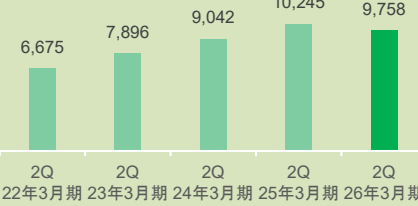
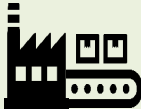
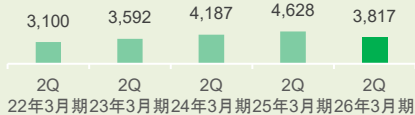
微圧

2025年3月期 圧力計 売上構成比

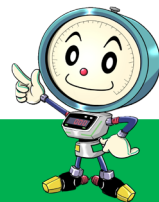


■圧力計事業の業種紹介



業種	主要製品	業種別 業績推移 (売上実績) 【百万円】	用途例	用途説明										
 産業機械・プロセス	 普通形圧力計  隔膜式圧力計	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>2Q 22年3月期</th> <th>2Q 23年3月期</th> <th>2Q 24年3月期</th> <th>2Q 25年3月期</th> <th>2Q 26年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,675</td> <td>7,896</td> <td>9,042</td> <td>10,245</td> <td>9,758</td> </tr> </tbody> </table>	2Q 22年3月期	2Q 23年3月期	2Q 24年3月期	2Q 25年3月期	2Q 26年3月期	6,675	7,896	9,042	10,245	9,758	●コンプレッサー ●発電所 ●石油精製 ●化学コンビナート ●真空ポンプ ●農業用機械	●化学プラントやコンビナートでは、様々な液体や気体が配管により供給されています。圧力計の設置により、配管の破裂や漏れを未然に防ぎ、施設の安全を確保します。 また、タンクや貯蔵容器内の圧力計測により、残量監視を行うとともに、爆発等の事故リスク低減にも寄与しています。
2Q 22年3月期	2Q 23年3月期	2Q 24年3月期	2Q 25年3月期	2Q 26年3月期										
6,675	7,896	9,042	10,245	9,758										
 FA空圧	 小形圧力計	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>2Q 22年3月期</th> <th>2Q 23年3月期</th> <th>2Q 24年3月期</th> <th>2Q 25年3月期</th> <th>2Q 26年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,100</td> <td>3,592</td> <td>4,187</td> <td>4,628</td> <td>3,817</td> </tr> </tbody> </table>	2Q 22年3月期	2Q 23年3月期	2Q 24年3月期	2Q 25年3月期	2Q 26年3月期	3,100	3,592	4,187	4,628	3,817	●空圧機器	●自動化された工場の製造ラインでは、機械やロボットが物を運んだり持ち上げたりする際に圧縮空気が用いられます。包装機械や組み立てロボットの空圧システムは規定の圧力で動作する必要があるため、圧力計を使用して圧力を常時監視することが重要です。仮に圧力供給が不安定になると、機械の正確な動作が妨げられ、生産効率に重大な支障をきたす可能性があります。
2Q 22年3月期	2Q 23年3月期	2Q 24年3月期	2Q 25年3月期	2Q 26年3月期										
3,100	3,592	4,187	4,628	3,817										

■圧力計事業の業種紹介



業種	主要製品	業種別 業績推移 (売上実績) 【百万円】	用途例	用途説明										
 空調管材	 微差圧スイッチ 微差圧計	<table border="1"> <thead> <tr> <th>2Q 22年3月期</th> <th>2Q 23年3月期</th> <th>2Q 24年3月期</th> <th>2Q 25年3月期</th> <th>2Q 26年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>917</td> <td>1,164</td> <td>1,166</td> <td>1,090</td> <td>1,049</td> </tr> </tbody> </table>	2Q 22年3月期	2Q 23年3月期	2Q 24年3月期	2Q 25年3月期	2Q 26年3月期	917	1,164	1,166	1,090	1,049	●クリーンルーム (半導体・医薬・食品) ●ビル空調	●居住空間の適切な換気を確保するために、空気が通るダクト内の空気量測定が重要視され、適切な風量の確保とフィルターの詰まり検知に微小圧力の計測が必要とされています。 (オフィス・半導体・医薬・食品工場等) 家庭やビル内の給水においても適切な水压を維持することで、上水の供給はもちろん、配管からの漏水低減にも貢献しています。
2Q 22年3月期	2Q 23年3月期	2Q 24年3月期	2Q 25年3月期	2Q 26年3月期										
917	1,164	1,166	1,090	1,049										
 半導体	 半導体産業用圧力計 高耐食圧力計	<table border="1"> <thead> <tr> <th>2Q 22年3月期</th> <th>2Q 23年3月期</th> <th>2Q 24年3月期</th> <th>2Q 25年3月期</th> <th>2Q 26年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,165</td> <td>1,796</td> <td>1,815</td> <td>2,150</td> <td>1,699</td> </tr> </tbody> </table>	2Q 22年3月期	2Q 23年3月期	2Q 24年3月期	2Q 25年3月期	2Q 26年3月期	1,165	1,796	1,815	2,150	1,699	●工場内配管 ●ガス・水・薬液の供給設備	●半導体の製造工程では、「ガス・薬液・純水」を供給する際、圧力計測は必要不可欠です。半導体製造プロセス全体における品質と安定性の向上に繋がります。これは均一なガス供給の確保だけでなく、適切な圧力管理が装置の保護にも繋がります。 特に、ガスポンプ等は、残量が目に見えないため、圧力計を用いて残量確認する等、様々な用途でご利用頂いています。
2Q 22年3月期	2Q 23年3月期	2Q 24年3月期	2Q 25年3月期	2Q 26年3月期										
1,165	1,796	1,815	2,150	1,699										

※圧力計事業における「電子製品」は、機械的構造により圧力値を電気信号に変換する製品につき、段階的に圧力センサへの置換えを進めております。

■ 1983年から圧力センサの開発・製造・販売開始。計測値を電気信号に変換、従来の計測から制御へ！

圧力センサ事業



圧力センサ

センサ素子を
自社開発・内製化
圧力値を問わず
少量から量産品に
至るまで幅広い
市場ニーズに対応

圧力センサとは？

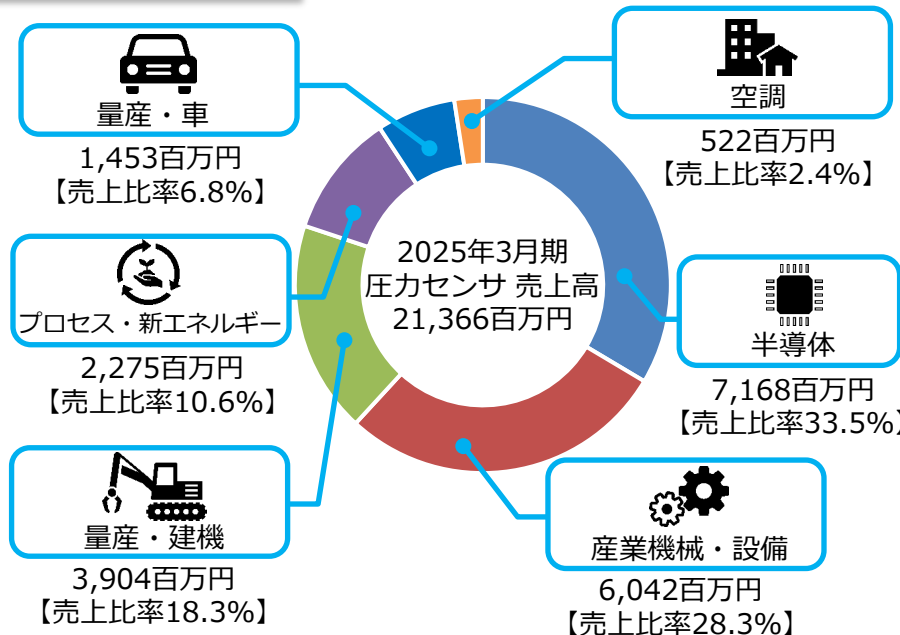
- 空気や液体の「押す力」を電気信号に変換、駆動電力を必要とし、計測データをリアルタイムで監視・制御システムに送信することが可能な計器。
- 昨今では、省人化の観点から設備の自動化が進み、自動制御の精度向上や安全面向上の観点から、搭載数量や需要が増加中。



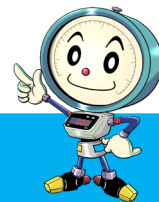
センサ素子
(心臓部)



2025年3月期 圧力センサ 売上構成比

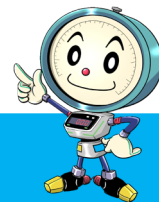


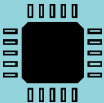
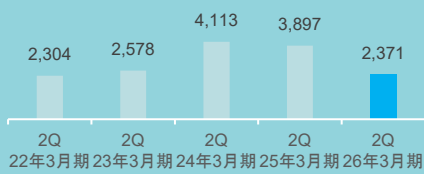
■ 圧力センサ事業の業種紹介



業種	主要製品	業種別 業績推移 (売上実績) 【百万円】	用途例	用途説明															
 プロセス・新エネルギー	 本質安全防爆構造圧力センサ	<table border="1"><thead><tr><th>2Q</th><th>2Q</th><th>2Q</th><th>2Q</th><th>2Q</th></tr><tr><th>22年3月期</th><th>23年3月期</th><th>24年3月期</th><th>25年3月期</th><th>26年3月期</th></tr></thead><tbody><tr><td>845</td><td>1,144</td><td>1,163</td><td>1,217</td><td>1,198</td></tr></tbody></table>	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	845	1,144	1,163	1,217	1,198	● 水素・アンモニア ● 石油精製	● 水素は高圧下で輸送や貯蔵が行われることが多く、圧力を正確に測定し管理することは、漏洩や爆発のリスクを軽減し、全体的なシステムの安定性を向上させるために不可欠です。圧力センサは、水素の充填、輸送、貯蔵設備において、圧力が安全限度内に保たれているか監視する役割を果たします。これにより、水素エネルギーの安全利用が実現されています。
2Q	2Q	2Q	2Q	2Q															
22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期															
845	1,144	1,163	1,217	1,198															
 産業機械・設備	 産業用圧力センサ	<table border="1"><thead><tr><th>2Q</th><th>2Q</th><th>2Q</th><th>2Q</th><th>2Q</th></tr><tr><th>22年3月期</th><th>23年3月期</th><th>24年3月期</th><th>25年3月期</th><th>26年3月期</th></tr></thead><tbody><tr><td>2,532</td><td>2,970</td><td>3,247</td><td>3,112</td><td>2,809</td></tr></tbody></table>	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	2,532	2,970	3,247	3,112	2,809	● 工作機械 ● 油空圧機器 ● 射出成型	● 産業機械では、機械やシステム内の流体やガスの圧力を正確に測定し、そのデータを利用して設定条件を微調節することで、製品の一貫した品質維持、全体の運用効率を向上させる目的で圧力センサが活用されています。その結果、製造プロセスの全体的な運用コスト削減にも寄与しています。
2Q	2Q	2Q	2Q	2Q															
22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期															
2,532	2,970	3,247	3,112	2,809															
 空調	 デジタル微差圧計	<table border="1"><thead><tr><th>2Q</th><th>2Q</th><th>2Q</th><th>2Q</th><th>2Q</th></tr><tr><th>22年3月期</th><th>23年3月期</th><th>24年3月期</th><th>25年3月期</th><th>26年3月期</th></tr></thead><tbody><tr><td>234</td><td>240</td><td>293</td><td>256</td><td>265</td></tr></tbody></table>	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	234	240	293	256	265	● ビルの給排水 ● 大型冷暖房 ● クリーンルーム	● 空調機における冷媒の圧力を計測し、空調システムの稼働効率向上、快適な室内環境維持のための監視、エネルギー消費抑制にも繋がっています。また、クリーンルームでは部屋の圧力を一定に保つことで異物の侵入を防ぐ等、部屋内の清潔度維持にも寄与しています。
2Q	2Q	2Q	2Q	2Q															
22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期															
234	240	293	256	265															

■ 圧力センサ事業の業種紹介



業種	主要製品	業種別 業績推移 (売上実績) 【百万円】	用途例	用途説明										
 半導体	  半導体産業用 圧力センサ 洗浄用 圧力センサ	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>22年3月期</th> <th>23年3月期</th> <th>24年3月期</th> <th>25年3月期</th> <th>26年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,304</td> <td>2,578</td> <td>4,113</td> <td>3,897</td> <td>2,371</td> </tr> </tbody> </table>	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	2,304	2,578	4,113	3,897	2,371	● エッジング装置 ● 薬液供給装置 ● 洗浄装置 ● シリンダー キャビネット	● 圧力センサは半導体製造装置内のシステムに計測データをリアルタイムに提供することで、「ガス・薬液・水」の調整や監視を自動で行うことが可能になります。これは、半導体の生産効率向上や品質の向上、装置の保護だけでなく、危険なガスや薬液の供給は勿論、漏れ監視にも利用されています。
22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期										
2,304	2,578	4,113	3,897	2,371										
 量産・車	 車載用圧力センサ	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>22年3月期</th> <th>23年3月期</th> <th>24年3月期</th> <th>25年3月期</th> <th>26年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>699</td> <td>350</td> <td>1,052</td> <td>654</td> <td>910</td> </tr> </tbody> </table>	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	699	350	1,052	654	910	● 自動車	● 自動車では、エンジンの燃焼システム、ブレーキ、エアコン等、圧力計測が多数必要とされています。燃料を供給する圧力制御により燃費向上に繋がったりブレーキ制御により自動運転を実現させる等、機能向上に繋がるだけでなく、安全性向上にも寄与しています。
22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期										
699	350	1,052	654	910										
 量産・建機	 建設機械用圧力センサ	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>22年3月期</th> <th>23年3月期</th> <th>24年3月期</th> <th>25年3月期</th> <th>26年3月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,233</td> <td>2,123</td> <td>1,907</td> <td>1,967</td> <td>2,207</td> </tr> </tbody> </table>	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	2,233	2,123	1,907	1,967	2,207	● 建設機械	● ショベルカー等の重機における油圧制御は、アームの動きや土の掘削作業の駆動源となります。そのため、圧力センサの搭載は、建設機械の性能向上に関わることで、異常な圧力を早期に検出することで、保全だけでなく工期遅延の軽減、より安全で効率的な作業を支えています。
22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期										
2,233	2,123	1,907	1,967	2,207										

■ 正確な圧力を発生させる機器を自社開発、応用製品（装置を含む）を外販する事業

計測制御機器事業

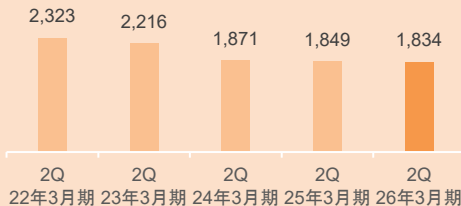


重錘型圧力計（圧力標準機）

計測制御機器とは？

- 圧力計・圧力センサの検査・校正用として基準となる正確な圧力を発生する装置をはじめ、加圧装置など生産設備に至るまでの機器を提供。
- その他、空気圧機器、リーク検査装置（漏れの確認）等対応。

計測制御機器事業 業績推移（売上実績）【百万円】



計測制御機器事業の 主要製品紹介

主要製品

用途例

用途説明



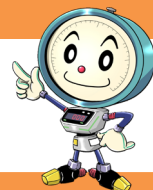
エアハンド エアリークテスト

ヘリウムリーク テストシステム



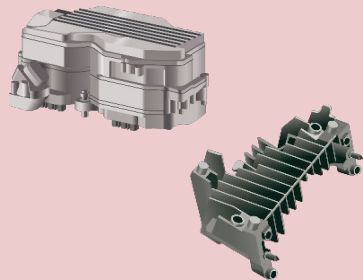
- 自動車部品
- 電子部品
- 包装容器
- 医療機器
- FA

- リークテストは、自動車業界、電子機器などの部品の密封性を圧力の変動又は、希ガスの流出を検出により、健全性を評価する試験装置です。品質不良を未然に防ぐ目的で使用されます。
- エアハンド等の空気圧機器製品は、ロボットに取り付ける等、産業界における生産設備の自動化及び省人力化に欠かすことのできない機器です。



■アルミニウムのダイカスト製品を金型から設計・開発・販売

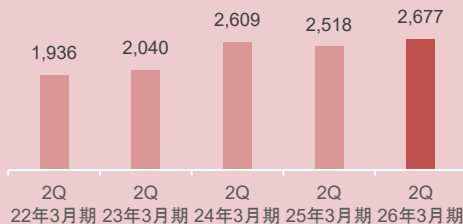
ダイカスト事業



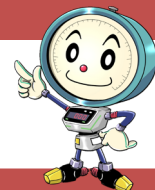
ダイカストとは？

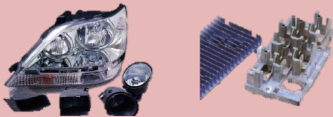
- 自動車関連部品、油・空気圧関係、工業計器、O A・エレクトロニクス関係など様々な分野に製品を供給しています。
- 鋳造から加工、表面处理、検査にいたるまで、自動化設備を積極的に導入しております。

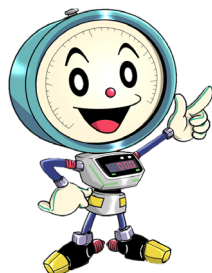
ダイカスト事業 業績推移（売上実績）【百万円】



ダイカスト事業の 主要製品紹介



主要製品	用途例	用途説明
■アルミニウム製品  自動車関連部品 ヒートシンク部品	【アルミニウム製品】 ●自動車部品 ●計量器 ●工業計器	●自動車のLEDライトは、点灯時の発熱量が大きいので、冷却が重要です。「ヒートシンク部品」を活用いただく事で、放熱が可能となり、LEDライトの耐用年数の向上に貢献しています。
■ダイカスト金型 	【ダイカスト金型】 ●自動車部品用 ●民生部品用 ●工作機部品用	●ダイカスト法で使用する金型は、鋳造したダイカストを取り出せるように最小で2つの部分より構成されます。一方は固定型、他方は可動型といい、引抜中子等複雑で高精度な型作りが可能です。



注意事項

本資料で記述されている業績ならびに将来予測は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的风险や不確実性が含まれます。

従いまして、さまざまな情勢変化により、当社予測と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。